

国語では、解答の書き方・表現を一つに限定しがたい設問について、採点基準に近い形の出題意図を示す。

1

問(一) (解答例)

満員電車に存在する暴力は異常であるにもかかわらず、それが日常である人々にとっては認識不可能になっているということを、寺田が示しているため。

問(二) (解答例)

満員電車に乗ることによって自ら他者への暴力に加担し、それによって他者に暴力をふるうという状況を生み出し続けるということ。

問(三) (解答例)

都市生活の秩序に人間らしく順応することが、皮肉にも非人間的な暴力への加担を導いてしまうという点。

問(四) (解答例)

満員電車での物理的な暴力に耐えられない人々から移動する機会を奪い、彼らの自己実現の選択肢を狭めさせるという暴力が、不可視な形で発揮される。

問(五) (解答例)

効率よく人やものが流れていくことを理想とする社会システムに合わせて適切に振る舞うことは「スマート」だが、道徳的なあり方よりも合理性を重視してしまうため、システムを維持できない事態や人々に対する暴力性を当たり前だと思ってしまう「悪」でもあるのだということ。

問(六) (意図・基準)

本問は課題作文に当たる。文章・構成面では、字数が8割以上あり、最後まで書き終えていること、誤字・脱字がなく、全体の構成がきちんと構築されていることを求めている。内容面では、本文の内容を踏まえていること、指示されていることにふさわしい内容であること、論理が一貫し、結論まできちんと書かれていることを求めている。

問(七)

- (a) 洞察 (b) 弊害 (c) 憤怒 (d) 容赦 (e) 脅

2

問(一) (解答例)

陽成院が行列を見物なさるはずだったのに、不思議なことにお見えにならなかったのは、  
どういう事情で御覧にならなかったのか。

問(二) (解答例)

札には院のことは何も書いていない。

問(三) (解答例)

人の寄ってこない所で静かに拝見しようと存じて立てました札です。

問(四) (解答例)

陽成院—この計画を思いついた才知に感心している。

世の人—自分の利益のために院の権威を利用したのは正当でないと批判している。

問(五)

- a — 断定の助動詞「なり」の連用形
- b — 完了の助動詞「ぬ」の連用形
- c — 完了の助動詞「ぬ」の命令形

## 解答例

問（一）

（１）ある（イハ）

（２）ゆえん

（３）や（マ）

問（二）

利益・利得というものは、このようにたやすく心のありかたを変えてしまうものだ。

問（三）

鼠のような小さなものでさえ、それを求め日頃の仲の良さを忘れて争うのだから、より大きな利得を前にすれば更に激しく争い合うであろうということ。

問（四）

ふだんは仲良く交際している人も、ひとたび権勢有る地位に近づく機会を得ると、それを求めて他者と激しく争うこととなる。利得のために心の在り方を変えてしまう人間の醜悪さは鼠を求めて争い合う東郭氏の飼い猫と変わらないということ。